無印良品

ポータブルDVDプレーヤー
形名 DVD-HP550M

取扱説明書

- お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

Li-ion

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では
使用できません。
This unit is designed for use in Japan only
and cannot be used in any other country.

保証書付 裏表紙にあります

もくじ

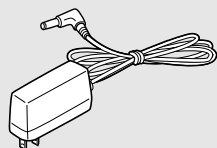
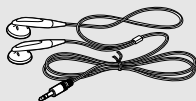
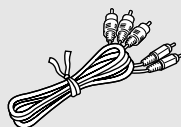
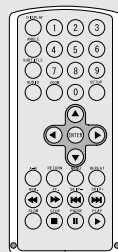
はじめに
安全上のご注意 3
使用上のお願い 8
お使いになる前に 10
各部のなまえ 13

準備
外部の機器と接続する 15
電源と共通の操作 16

再生
ディスクを再生する 19
メニューを使う 21
見たい、聞きたいところを探す 22
ディスクの情報を見る 23
速さを変えて再生する 24
繰り返し再生する 25
いろいろな映像の見かた 26
言語を変更する 27
MP3ファイルを再生する 28
JPEGファイルを再生する 30

システム設定
デジタル出力 33
画面モード 34
アングルマーク 34
メモリー機能 35
輝度、コントラスト、色調、彩度 35
パスワード変更 36
音声言語 37
字幕言語 37
メニュー言語 37
視聴制限 38
初期設定 38

参考
故障？その前にちょっとこれを！ 39
用語解説 42
アフターサービスについて 43
充電池のリサイクルについて 44
仕様 45
お客さまご相談窓口 46

付属品をお確かめください。

電源アダプター 1
（約2m）

ヘッドホン 1
（インナーイヤー型）

AVコード 1
（オーディオ・ビデオ出力ケーブル）
（約1.4m）

リモコン 1
CR2025 リチウム電池が、
リモコンに入っています

本書（保証書付）........ 1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

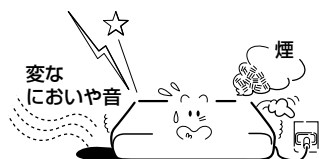
お願い

「安全上のご注意」 のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体のPOWER(電源)スイッチで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 映像や音が出ないなど（故障状態）
- 倒したり落としたりして、キャビネットを破損した

警告

電源について

■ 電源アダプター接続時の注意

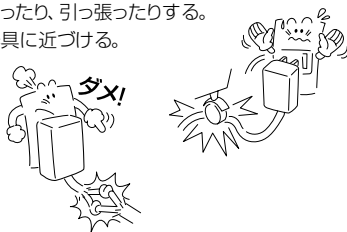
次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■ 電源コードを傷つけない

無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

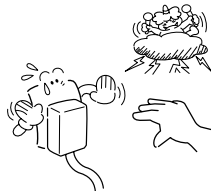
禁　止

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。

■ 雷が鳴り出したら

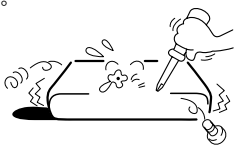
電源アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

警告

使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 異物を入れない

ディスクトレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 布をかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

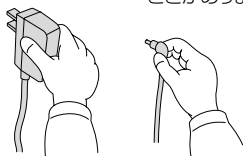
- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

⚠ 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

禁　止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機を不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源アダプターを抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCD/DVDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

禁　止

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近付けない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間(1ヶ月以上)使用しない場合やお手入れの際の注意

電源アダプターを抜く

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 電池（リモコン用）使用上の注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- CR2025リチウム電池以外は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。

禁　止

- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のお願い

■　取り扱いについて

- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもったりすることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっているとディスクトレイや底部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

■　設置場所について

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

■　お手入れについて

キャビネットやディスプレイのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

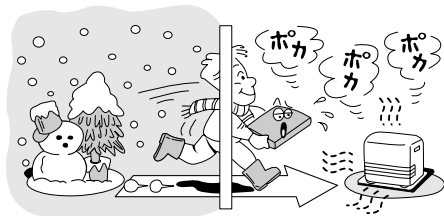
■　美しい画面を見るための点検のおすすめ

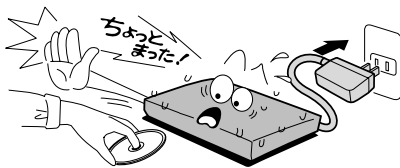
本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■　結露（露付き）について

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを**結露（露付き）**といいます。

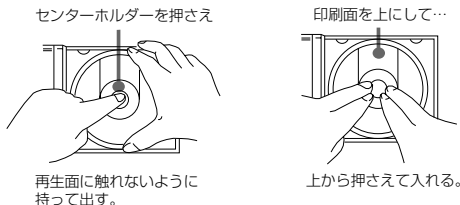
結露はこんなときおきます。

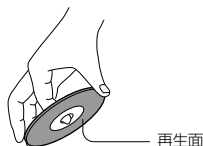
- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源アダプターをコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、２～３時間で水滴がなくなります。

ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

再生面に触れないように持って出す。

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。

ディスクの保管のしかた

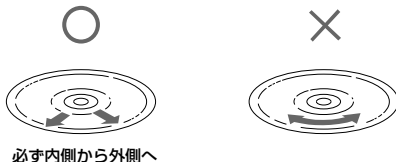
- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

必ず内側から外側へ

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ピックアップ(レンズ)のクリーニング

レンズにゴミやほこりが付いて汚れますと、音とびが起きたり、画像が乱れることがあります。ほこりなどは、きれいな空気を吹き付けて除去してください。取りきれない汚れやちり、ほこりが付いた場合は、指定のクリーニングを用いて、綿棒などで軽く拭き取ってください。

DVD クリーニングキット：サービス対応品

- 市販されているレンズクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

ディスクについてのご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
また、セロハンテープやレンタルCD/DVDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  - ◆ 本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ◆ 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ◆ ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- コピーガード付きCD再生について
CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

お使いになる前に

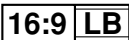
再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm（CDシングル）	20分
CD-R/CD-RW	COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable	MP3 JPEG	12cm	書き込み内容に準じます
			8cm	

認定されていないディスクについて

正式な販売地域以外のDVDディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。
正式な販売地域以外のDVDディスクを再生しようとすると、「地域コードが間違っています」というメッセージが画面に表示されます。

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには右の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像･音声の数や、使える機能を表しています。
（DVDによっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。）

ちょっとこれを！

- 本機はNTSCテレビ（日本のテレビ）方式以外のディスクでは正しく表示しません。
- CD-RまたはCD-RWでは音楽CDフォーマット、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- DVD-R/-RWではDVDレコーダーなどでDVDビデオフォーマットで記録されたもので、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。

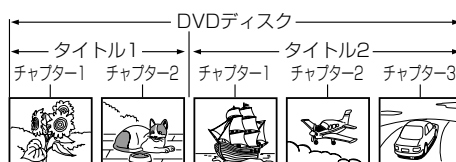
マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声(英語/スペイン語/日本語など)が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDディスクには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョンコードを表します。(下記を参照ください。)

DVD再生時の機能や操作について

DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。
DVDディスクの機能や操作について、詳しくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

本機のリージョンコードは「2」です。
リージョンコードが「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。

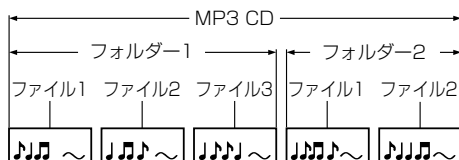
タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。
例:DVD

例:音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

お使いになる前に

MP3について

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) におたずねください。
  JASRAC 本部TEL 03-3481-2121
  URL http://www.jasrac.or.jp/

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

この取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、取扱説明書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。
操作中に「 ⊘ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表わしています。

DVD CD DATA について
本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD ： DVDでお楽しみいただけます。

CD ： 音楽用CDでお楽しみいただけます。

DATA ： MP3またはJPEG形式のデータが記録されているCDでお楽しみいただけます。

再生中、再生後の音量にご注意ください

DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスク によって異なります。DVDの場合は音声出力モード（5.1chか2chかなど）によっても音声レベルが変わることがあります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが本機の故障ではありません。また、音量を上げてDVDや音楽CDを再生した後に、音量を上げたまま別のDVDや音楽CDを再生すると、大きな音が出ることがありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するとき、事前に音量を下げるよう心がけてください。

各部のなまえ　つづく

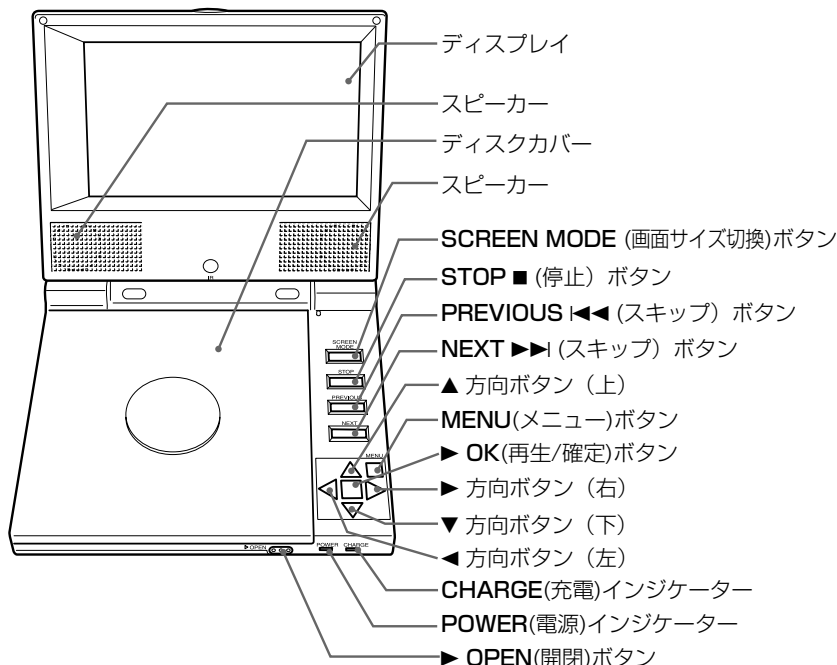
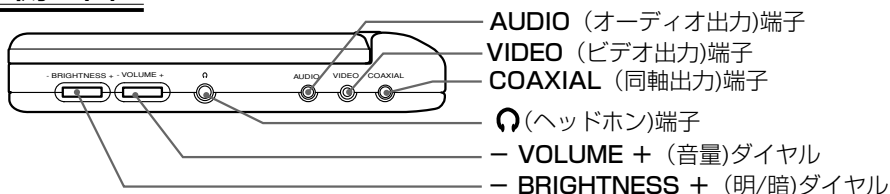
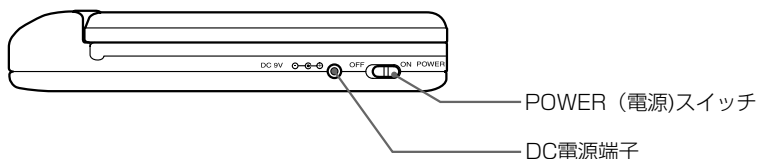
本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

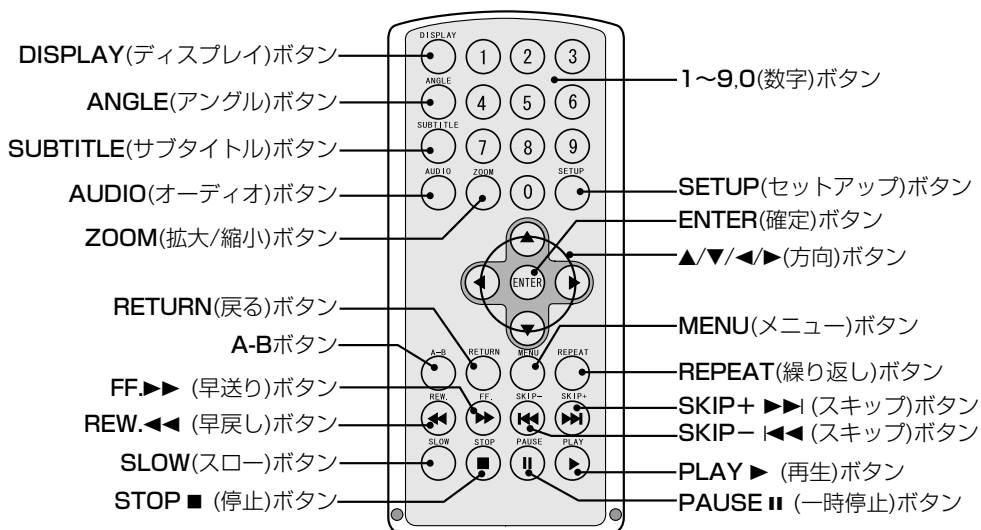
本体の同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。

● 表示例として使用しております表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

前　面

右　側　面

左　側　面

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ご使用前のお願い

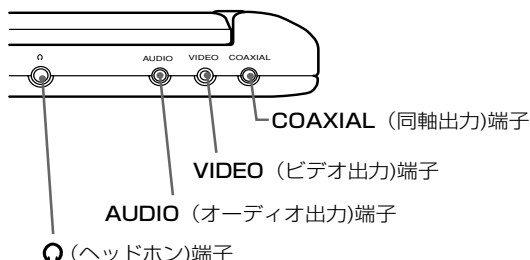
▶ OPENボタンをスライドさせてディスクカバーを開け、中の保護シートを取り出してください。

外部の機器と接続する

外部の機器を接続する

■ (ヘッドホン)端子

付属のインナーイヤー型ステレオヘッドホンを接続する

● ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

■ AUDIO(オーディオ出力)端子

付属のAVコード(オーディオ・ビデオ出力ケーブル)のオーディオ端子(黒)を接続する

● 接続する機器の入力端子に反対側のオーディオ端子(白・赤)を接続してください。くわしくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ VIDEO(ビデオ出力)端子

付属のAVコード(オーディオ・ビデオ出力ケーブル)のビデオ端子(黄)を接続する

● 接続する機器の入力端子に反対側のオーディオ端子(黄)を接続してください。くわしくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ COAXIAL(同軸出力)端子

市販の同軸デジタルケーブルを接続する

ご注意

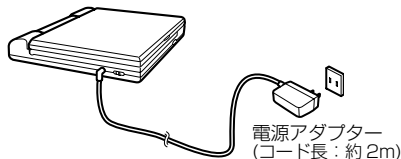
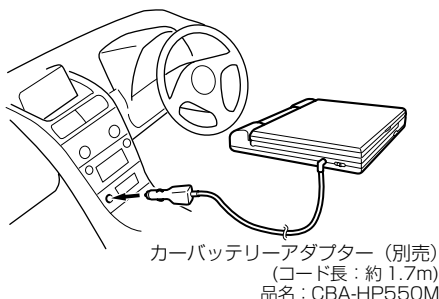
● ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないようにしてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

ちょっとこれを！

本機はテレビの近くでも使用できるように設計されていますが、設置のしかたによっては、テレビに色ムラが生じることがあります。その場合は、本機をテレビから離して（影響がなくなるまで）設置してください。

電源と共通の操作

電源コードの接続

室内の電源に接続する

車内の電源に接続する

● 電源アダプター、カーバッテリーアダプターを抜き差しするときは、本体の**POWER**（電源）スイッチをOFFにして電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

電源を入 / 切する

1 本体のPOWER（電源）スイッチをONにする

本体の電源が入り、ディスプレイに無印良品のロゴが表示されます。

- 前面のPOWERインジケーターが点灯します。
- リモコンでは電源は入れられません。本体でおこなってください。
- ディスプレイに「ロード中」と表示され、ディスクの読み込みをはじめます。ディスクが入っていない時は、その後「ディスクを入れて下さい」と表示されます。

2 本体のPOWER（電源）スイッチをOFFにすると本体の電源が切れる

- 前面のPOWERインジケーターが消灯します。

充電する

充電をすると、電源コードを接続しなくても本機を使用することができます。

POWER（電源）スイッチをOFFにして電源を切った状態で、電源アダプターまたはカーバッテリーアダプターを電源に接続する

CHARGEインジケーターが点灯し、充電がはじまります。

CHARGEインジケーター点灯…充電中
CHARGEインジケーター消灯…フル充電完了

充電池が空の場合は、約3時間でフル充電されます。フル充電された状態で約2時間20分使用できます。
使用条件などによって、電池持続時間は異なります。

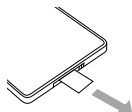
ちょっとこれを！

- 電源がONの状態では充電されません。
- フル充電に近い状態にあるときは、CHARGEインジケーターが点灯しない場合があります。
- 充電池で再生する場合は、本体のDC電源端子に何も接続しないでください。
- 充電池をフル充電して長期間(1ヶ月程度)放置していますと、自己放電により使用可能時間が短くなります。お使いになる前にフル充電してから使われることをおすすめします。
- 本機の充電池はリチウムイオン電池を使っています。時々完全に使い切ってから充電していただくと、電池の使用時間が短くなるのを防ぐ効果があります。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。

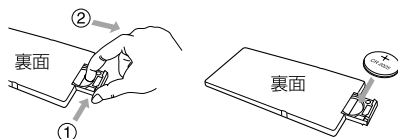
リモコン用電池の入れかた

リチウム電池の入れかた

初めてリモコンを使う場合

CR2025リチウム電池(付属)が、あらかじめリモコンの中に入っています。図のようにプラスチックシートを引き抜くと、使用できます。

- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを本体の近くで操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。

電池を取り替える場合

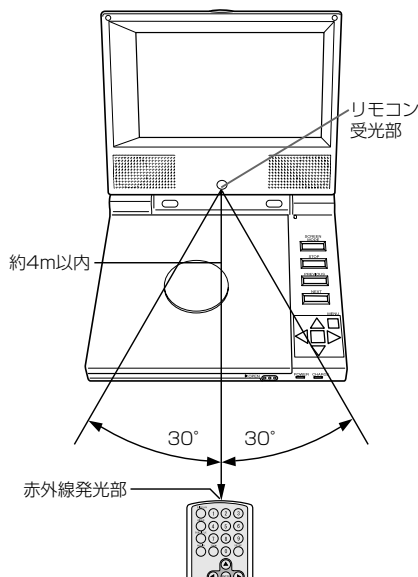
①を押さえながら、②の方向に引きます。
(取り出すには、少し力を入れてください。)

電池はCR2025 リチウム電池を使用してください。

- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

ご注意

- リモコンを長期間(1ヶ月程度)使用しない場合は、電池を取り外してください。リモコン内の電池が液漏れを起こす場合があります。

リモコンの使える範囲

水平方向で左右30度ずつ、直線距離で約4mまでの範囲です。

- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

準備

ディスプレイ表示サイズを切り換える

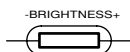
ディスプレイに表示される画面のサイズを切り換えることができます。

本体のSCREEN MODEボタンを押す

ボタンを押すたびにディスプレイの横幅サイズが切り換わります。

- 外部出力端子で出力した機器の画面表示は、このボタンでサイズは変わりません。

画面の明るさを変える

画面の明るさが気になるときは、明るさを変えることができます。

本体右側面の− BRIGHTNESS ＋ ダイヤルで調整する

- 外部出力端子で出力した機器の画面明度は、このダイヤルでは変わりません。

音量を調節する

本体右側面の− VOLUME+ ダイヤルで調節する

音のエチケット

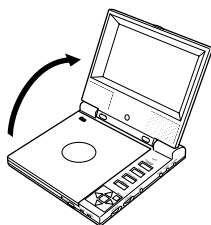
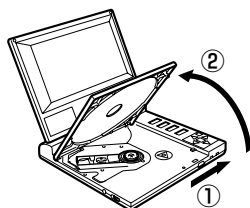
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

ディスクを再生する

DVD CD DATA つづく

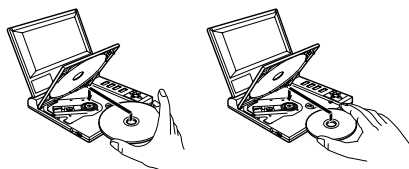
本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

本書では本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
<各種設定はディスク情報が優先されます>

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P16

2 ① ► OPENボタンをスライドさせて、② ディスクカバーを開ける

ディスクカバーが開きます。ディスプレイに「開く」が表示されます。

はじめてご使用になる時はディスクトレイの上にある保護シートを取り出してください。

3 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして、カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。

12cm ディスクの場合

8cm ディスクの場合

4 ディスクカバーを閉める

カチッと音がするまで閉めます。ディスプレイに「ロード中」と表示され、自動的に再生が始まります（オートプレイ機能 ）。

- ディスクの再生面を逆にしてトレイに置いたり、傷ついたディスクを再生しようとすると、テレビディスプレイに「ディスクを入れて下さい」と表示されます。この場合は、ディスクを正しく置きなおすか、新しいディスクに交換してください。

[停止しているディスクを再生するときは]

PLAY ► ボタンを押す

再生が始まります。

データCD（MP3 P28、JPEG P30 ）の再生のしかたについては各説明ページも合わせてご覧ください。

ディスクのメニューが表示されたとき

DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◄/► ボタンとENTERボタン（本体ではOK ►ボタン）で項目を選びます。詳しくは、P21 をご覧ください。

ご注意

- 再生中に本体を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。動作中のディスクカバーに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクカバーを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクはディスクトレイ中央のホルダーにしっかりとはめ込んでください。、ディスクが固定されていないと、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。
- DVDは読み込みに時間がかかります。
- ディスクによってはオートプレイをしないディスクがあります。

再生を途中で止める

STOP ■ ボタンを押す

停止した位置から再生するとき(リジューム機能)

再生中に STOP ■ ボタンを1回押すと、「PLAYを押して継続」とディスプレイに表示されます。
PLAY ► ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき(リジューム機能の解除)

本体の電源を切るか、上記の状態からもう一度 STOP ■ ボタンを押します。
次に再生するときはディスクの最初から始まります。

ちょっとこれを!

- 「PLAYを押して継続」と表示されないときは、リジューム再生できません。
- ディスクによってはリジューム再生できない場合があります。
- リジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本体の電源を切ったときは、リジューム再生の記録が消えます。

ディスクを取り出す

► OPENボタンをスライドさせてディスクカバーを開ける

ディスクカバーが完全に開いてから、ディスクを取り出します。

12cm ディスクの場合

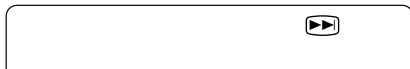
8cm ディスクの場合

ディスクカバーをカチッというまで押さえて、閉めます。

再生したい項目にスキップする

次のチャプター / トラックへ進む

再生中に、SKIP+►►I ボタンを押す
(本体ではNEXT ►►I ボタン)

ディスプレイに「 ►►I 」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

前のチャプター / トラックへ戻る

再生中に、SKIP− I◄◄ ボタンを押す
(本体ではPREVIOUS I◄◄ ボタン)

ディスプレイに「 I◄◄ 」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生します。
続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

ちょっとこれを!

- ディスクによってはスキップが禁止されている場合があります。
- チャプターとトラックについては11ページを参照してください。

メニューを使う

DVD

<各種設定はディスク情報が優先されます>

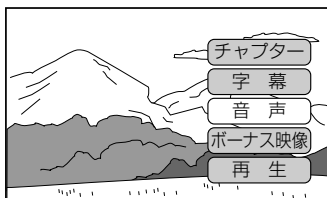
DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

準備　本体の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P19

DVD メニューで選ぶ

1 再生中にMENUボタンを押す

ディスプレイに「ルートメニュー」と表示され、DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、数字ボタンで選べるものもあります。

3 ENTERボタンを押す

選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。操作2～3を繰り返して希望のメニューを操作します。

ディスクによってはDVDメニューが複数階層用意されているものがあります。そのようなディスクの場合は、さらに**MENU**ボタンを押すと「タイトルメニュー」が表示され、上の層のDVDメニューを表示することができます。

RETURN ボタンを使う

DVDメニュー表示中に**RETURN**ボタンを押すと、本編の再生にもどります。
再生中に**RETURN**ボタンを押すと、DVDメニューの表示にもどります。

ちょっとこれを！

- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、**システム設定**の「その他設定ページ」で言語を選ぶことができます。P37
- DVDメニューが記録されていないディスクもあります。
- DVDメニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また「ENTERボタンを押す」といった案内の表示を「選択ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」を選ぶことが禁止されている場合があります。
- ディスクによっては「ルートメニュー」と「タイトルメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによっては読み込み後、DVDメニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

見たい、聞きたいところを探す

DVD CD

準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P19

チャプターサーチ　DVD

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

再生中に数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力する

例：チャプター番号6を選ぶには
　0 → 6
　チャプター番号10を選ぶには
　1 → 0

タイトル　01/12　チャプター 06/13

入力中のチャプター番号

選んだチャプターから再生が始まります。

トラックサーチ　CD

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

例：トラック番号6を選ぶには
　0 → 6
　トラック番号10を選ぶには
　1 → 0

トラック選択：06/13

入力中のトラック番号

選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを！

- 設定途中で訂正するときは、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して設定をキャンセルしてから、もう一度数字ボタンを押します。
- 誤った番号が入力されていると、ディスプレイに「⊘」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- タイトルとチャプター、トラックについては11ページを参照してください。

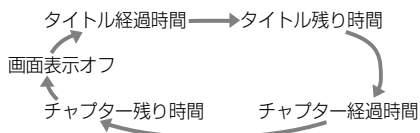
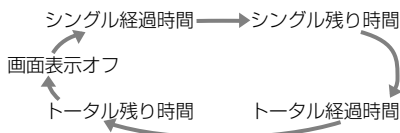
操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

ディスクの情報を見る

CD

ディスプレイに、経過時間や残り時間などの設定を表示できます。

再生中に、DISPLAYボタンを押す

[DVD]

DISPLAY ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

タイトル経過時間

タイトル残り時間

チャプター経過時間

チャプター残り時間

[CD]

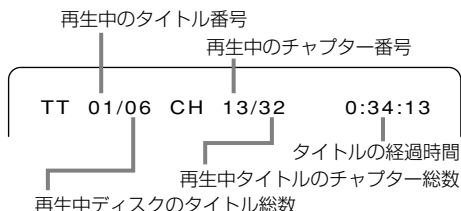
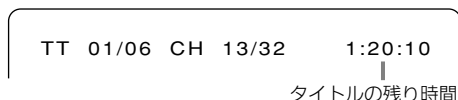
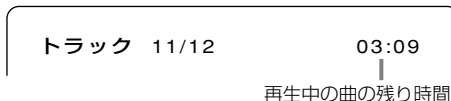
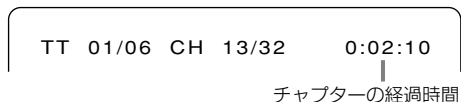
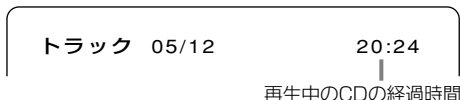
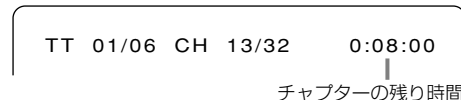
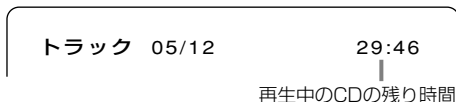
DISPLAY ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

シングル経過時間

シングル残り時間

トータル経過時間

トータル残り時間

再生

ちょっとこれを！

- スロー再生中やスロー戻し再生中、静止（一時停止）中にディスク情報を表示させることもできます。

速さを変えて再生する

DVD CD DATA

＜各種設定はディスク情報が優先されます＞

静止（一時停止）する

再生中に、PAUSE ❚❚ ボタンを押す

ディスプレイに「❚❚」が表示されます。

DVD：静止
CD：一時停止
DATA：一時停止

通常の再生に戻すときは、PLAY ► ボタンを押す

早送り、早戻しする

再生に、FF. ►► またはREW. ◄◄ ボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

早送り：FF. ►► ボタン

►► 2X→ ►► 4X→ ►► X8→ ►► X16→
►► X32 → ► (通常再生) → ►► 2X ・・・

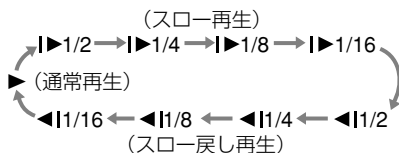
早戻し：REW. ◄◄ ボタン

◄◄ 2X→ ◄◄ 4X→ ◄◄ X8→ ◄◄ X16→
◄◄ X32→ ► (通常再生) → ◄◄ 2X ・・・

通常の再生に戻すときは、PLAY ► ボタンを押す

スローモーションで見る DVD

再生中に、SLOWボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

通常の再生に戻すときは、► がディスプレイに表示されるまで繰り返しSLOWボタンを押すか、PLAY ► ボタンを押す

ちょっとこれを！

- 静止（一時停止）やスロー再生・スロー戻し再生中は、音声がでません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止（一時停止）や早送り・早戻し・スロー再生・スロー戻し再生を禁止しているものもあります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

繰り返し再生する

DVD CD

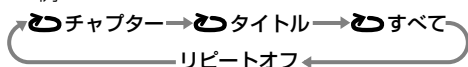
繰り返し再生する

ディスク全体または、タイトル・チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

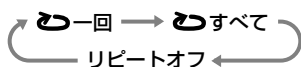
REPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例：DVD

チャプター → タイトル → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
チャプター	再生中のチャプターを繰り返す
タイトル	再生中のタイトルを繰り返す
すべて	ディスクの内容すべてを繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

例：CD

一回 → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
一回	再生中のトラックを繰り返す
すべて	ディスク全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには、REPEATボタンを繰り返し押して、ディスプレイから「 」表示を消す

再生したい部分だけを繰り返し再生する

1 **再生中に繰り返し再生したい部分の始点(A)で、A-Bボタンを押す**

A

2 **繰り返し再生したい部分の終点(B)で、A-Bボタンを押す**

AB

自動的にA点に戻り、指定した部分(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには、A-Bボタンを押してディスプレイから「 AB」表示を消す

ちょっとこれを！

- 本体の電源を切/入したり、ディスクカバーの開閉や、STOP ■ ボタンを押して停止すると、リピート再生やA-Bリピート再生は取り消されます。
- ディスクによってはリピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。また、チャプターリピートまたはタイトルリピートを選ぶことができない場合があります。
- A-Bリピートは1か所のみ設定できます。

再生

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

いろいろな映像の見かた

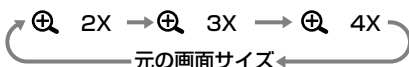
DVD

映像を拡大する(ズーム)

映像を拡大表示することができます。

1 再生または静止中に、ZOOMボタンを押す

ZOOMボタンを押すたびに、次のように拡大率が変わります。

2X → 3X → 4X → 元の画面サイズ

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動させる

- 画面の端までくると移動が止まります。

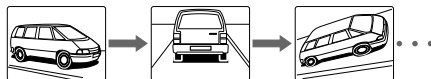
元の映像に戻すには、ズーム表示が消えるまで繰り返しZOOMボタンを押す

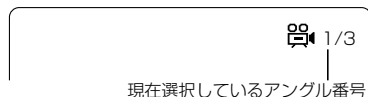
元の大きさに戻ります。

ちょっとこれを!

- スローモーション、早送りや早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によってはズーム機能が働かないものもあります。

映像のアングルを切り換える

複数のアングルで記録された(マルチアングル)DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

1 再生中に、ANGLEボタンを押す

押すたびに、選択しているアングルの番号が切り換わり、アングルが切り換わります。

ちょっとこれを!

- マルチアングルで記録された映像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えを禁止しているものもあります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

言語を変更する

DVD

<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVD の音声を切り換える

DVDには複数の音声が記録されているものがあり、希望の音声を選んで再生することができます。

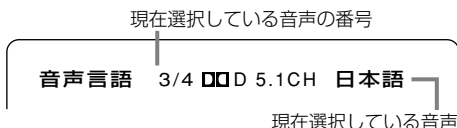
こんにちは　　Hello!　　Holà!

再生中にAUDIOボタンを押す

押すたびに、音声が切り換わります。

現在選択している音声の番号

音声言語　3/4 DD D 5.1CH　日本語

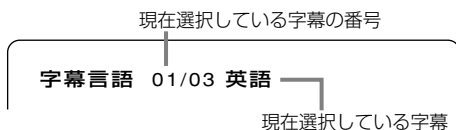
現在選択している音声

ちょっとこれを！

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声を切り換えることはできません。
- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えを禁止しているものもあります。
- 電源を切ったり、ディスクを交換すると、元の音声に戻りますのでお好みの音声を選択してください。
- 選択できる音声はディスク情報によって決まります。

DVD の字幕を切り換える

DVDには字幕が記録されているものがあり、再生中にディスプレイに表示できます。複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。

再生中にSUBTITLEボタンを押す

押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。

[字幕表示を切るには]

「字幕オフ」の表示が出るまで、SUBTITLEボタンを繰り返し押す

ちょっとこれを！

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示を禁止している場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。 P21
- 記録されている字幕言語の種類や数はディスクによって異なります。
- 本体の電源を切/入したりディスクカバーを開閉すると、設定した字幕が取り消されて、元の状態に戻ります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

MP3 ファイルを再生する

DATA

データCD（CD-R、CD-RWなど）に記録されているMP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

MP3 ファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライトソフト、マルチセッション形式には対応していません。
- オーディオCDトラックとMP3ファイルが混在したCDはMP3のみ再生します。（シングルセッション時のみ）
- ファイル構成にもよりますが、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と“_”（アンダースコア）、“ー”（ハイフン）で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。
- 読み込み可能なフォルダー数/ファイル数は最大256まで対応しています。ただし、読み込み可能なフォルダー数、ファイル数はライタソフトにより異なることがあります。
- MP3 CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のID3タグには対応していません。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。

<MP3>
- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
- － 44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps（固定または可変のビットレート）
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

MP3 ファイルを再生する

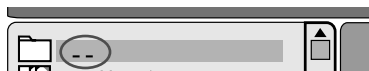
準備　本体の電源を入れ、ディスクを入れて再生できるようにしておきます。P19

1 **19 ページ1～3と同様の手順とディスクをディスクトレイに置く**

2 **ディスクカバーを閉める**

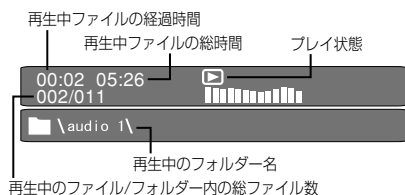
ディスプレイにファイルブラウザ（ファイル一覧画面）が表示され、最初のフォルダーの音楽ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。
（例:）

3 **▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ**

- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択した後、ENTERボタンか ▶ ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択した後、ENTERまたは ▶ ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

4 **▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ**

5 ENTERまたはPLAY ► ボタンを押す

選択したファイルが再生された後、以降の曲が順に再生されます。

- ディスプレイのプレイ状態欄に「►」が表示され、再生中のファイル名またはフォルダー名が表示されます。

再生を途中で止める

STOP ■ 停止ボタンを押す

ディスプレイのプレイ状態欄に「■」が表示され、再生中のファイルが停止します。

一時停止する

再生中に、PAUSE ⏸ ボタンを押す

ディスプレイのプレイ状態欄に「⏸」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常の再生に戻すときは ► ボタンを押す

ちょっとこれを！

- ファイル名は半角英数字で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- MP3ファイル再生には、リジューム機能はありません。
- 1枚のディスクにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合に、MP3を選択して再生すると、JPEG形式のファイルが自動的にスキップされて再生されます。
- 1枚のディスクにMP3とJPEGのファイルが記録されている場合に、次または前のファイルがJPEGファイルのときスキップすると、JPEGのスライドショー再生になり、スキップ機能ではMP3再生には戻りません。MENUボタンを押すとファイルブラウザが表示されます。

ファイルをとび越す／頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進む

再生中に、SKIP+►►| ボタンを押す
（本体ではNEXT ►►| ボタン）

次のファイルの頭から再生します。

前のファイルへ戻る

再生中に、SKIP− |◄◄ ボタンを押す
（本体ではPREVIOUS |◄◄ ボタン）

再生中のファイルの1つ前のファイルの頭から再生します。

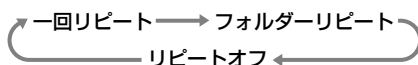
ちょっとこれを！

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し（スキップ）をすることができます。

繰り返し再生する

REPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、ステータス欄に以下のように表示が切り換わります。

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → 一回リピート

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	再生中のファイルを繰り返す
フォルダーリピート	フォルダ全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生したら、停止する

ちょっとこれを！

- 本機の電源を切/入したり、ディスクカバーの開閉や、STOP ■ ボタンを押してしたりすると、リピート再生は取り消されます。

JPEG ファイルを再生する

DATA

データCD（CD-R、CD-RWなど）に記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEG ファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライトソフト、マルチセッション形式には対応していません。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはJPEGのみ再生します。（シングルセッション時のみ）
- ファイル構成にもよりますが、JPEGファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と“_”（アンダースコア）で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。
- 読み込み可能なフォルダー数/ファイル数は最大256まで対応しています。ただし、読み込み可能なフォルダー数、ファイル数はライタソフトにより異なることがあります。
- ファイルサイズが大きい場合は、ディスプレイに表示されるのに時間がかかることがあります。
- 解像度は3072×2048まで表示可能です。
- JPEG CDは、記録された順序で再生できないことがあります。
- JPEG CDは、記録状態により再生できないことがあります。

JPEG ファイルを再生する

準備　本体の電源を入れ、ディスクを入れて再生できるようにしておきます。P19

1 19 ページ1～3と同様の手順とディスクをディスクトレイに置く

2 ディスクカバーを閉める

ディスプレイにファイルブラウザ（ファイル一覧画面）が表示され、最初のフォルダーの画像ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

（例：）

サブ フォルダー
フォルダー名
プレイ状態
プレビュー
00:0000:00
\SANYO0\
--
SANYO2
CATALOG 1
CATALOG 2
CATALOG 3
CATALOG 4
解像度　2048　×　1536
ファイル
解像度

プレビュー欄に、選択した画像ファイルのプレビューが表示されます。

- 解像度の数字が大きいファイルほど、外部出力端子で出力した機器の画面表示はきれいに出力されます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像ファイルのあるフォルダーを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択した後、ENTERボタンか ▶ ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択した後、ENTERまたは ▶ ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

5 ENTERまたはPLAY ▶ ボタンを押す

選択した画像と以降の画像が順にスライドショー再生されます。

ちょっとこれを！

- ファイル名は半角英数字で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- 1枚のディスクにMP3形式の音楽ファイルとやJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合に、JPEGを選択して再生すると、MP3形式のファイルが自動的にスキップされて再生されます。

スライドショー再生を途中で止める

STOP ■ 停止ボタンを押す

スライドショー再生が停止し、サムネイル（縮小画像一覧）が表示されます。

ふたたびスライドショー再生をはじめるには、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選び、PLAY ▶ ボタンを押してください。

ファイルブラウザ（ファイル一覧画面）に戻りたい場合は、MENUボタンを押してください。

一時停止する

スライドショー再生中に、PAUSE ⏸ ボタンを押す

ディスプレイに「⏸」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常のスライドショー再生に戻すときはENTERまたは ▶ ボタンを押す

ファイルをとび越す／頭出しする（スキップ）

次のファイルへ進む

スライドショー再生中に、SKIP+ ▶▶| ボタンを押す
（本体ではNEXT ▶▶| ボタン）

ディスプレイに「▶▶|」が表示され、次のファイルを再生します。

前のファイルへ戻る

スライドショー再生中に、SKIP− |◀◀ ボタンを押す
（本体ではPREVIOUS |◀◀ ボタン）

ディスプレイに「|◀◀」が表示され、再生中のファイルの1つ前のファイルを再生します。

ちょっとこれを！

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し（スキップ）をすることができます。

再生

JPEG ファイルを再生する

DATA

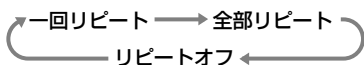
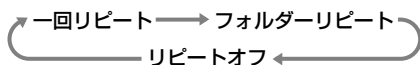
繰り返し再生する

REPEATボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、ステータス欄に以下のように表示が切り換わります。

- スライドショー再生･サムネイル表示時に押した場合

一回リピート → 全部リピート → リピートオフ → 一回リピート

- ファイルブラウザ表示時に押した場合

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → 一回リピート

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	スライドショー再生中のファイルを繰り返し表示する
全部リピート フォルダーリピート	フォルダ全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生したら、停止する

ちょっとこれを！

- 本機の電源を切/入したり、ディスクカバーを開閉すると、リピート再生は取り消されます。

画面切換モードを変更する

スライドショー再生中の画面切換モードを変更することができます。

スライドショー再生または一時停止中に、DISPLAYボタンを押す

押すたびに画面切換モードが切り換わります。

画像を拡大・縮小する(ズーム)

映像を拡大または縮小表示することができます。

1 **スライドショー再生または一時停止中に、ZOOMボタンを押す**

2 **画像を拡大する場合、FF. ▶▶ボタンを押す**

画像を縮小する場合、REW. ◀◀ボタンを押す

50%～200%まで6段階に調整できます。

3 **▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、拡大部分を移動させる**

- 画面の端までくると移動が止まります。

元の映像に戻すには、ZOOMボタンを押す

元の大きさに戻ります。

ちょっとこれを！

- SKIP−、＋ボタンを押すと、ZOOMモードは解除されます。

画像を回転・反転する

スライドショー再生または一時停止中に、▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、画像を回転･反転させる

押すたびに画像を回転･反転します。

> 操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

システム設定

<各種設定はディスク情報が優先されます>

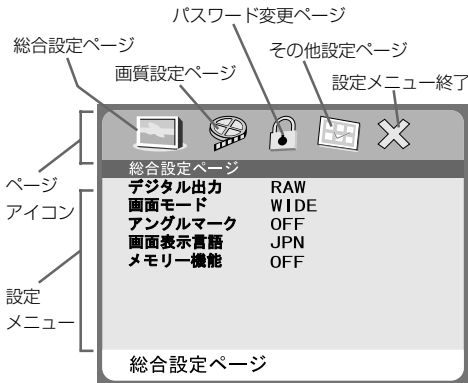
本機の様々な機能を設定できます。

システム設定画面を表示させるには

SETUPボタンを押す

システム設定画面を消すには

もう一度SETUPボタンを押す

システム設定画面には、次の4つのページがあります。

ページの切り替え

◀/▶ ボタンでページアイコンを選択して、ページを切り替えます。

ENTER ボタンを押すと、それぞれの設定メニューに移動します。

ページアイコンの選択に戻る

その後、ページアイコンのメニューに戻るには、設定メニュー内の黄色の選択が消えるまで◀ ボタンを押します。

設定メニュー終了を選択して ENTER ボタンを押しても、システム設定画面は消えます。

総合設定ページ

SETUPボタンを押して、システム設定画面を表示させる

ページアイコンで総合設定ページを選択し、ENTERボタンを押す

■ デジタル出力

デジタル出力の設定をできます。

1 ▲/▼ ボタンを押して、設定メニューのデジタル出力を選択する

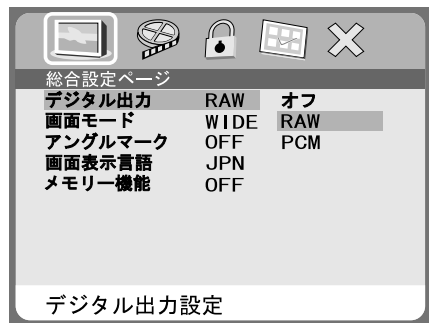
デジタル出力が黄色で選択されます。

2 ▶ ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる

設定項目が黄色で選択されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して、設定を選択する

4 ENTERボタンを押して、設定を確定する

選択した設定に変更されます。

オフ:

COAXIAL(同軸出力)端子からのデジタル信号の出力がオフになります。

RAW:

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器を接続したときに選びます。

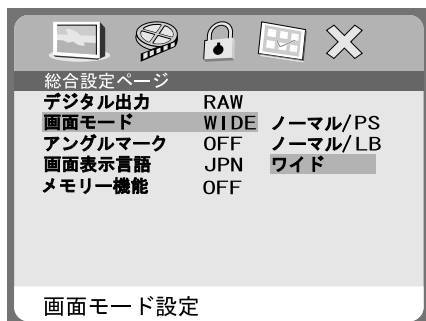
PCM:

通常のオーディオ機器で再生するときに選びます。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。

システム設定

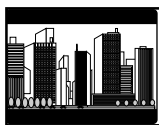
■ 画面モード

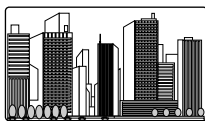
外部出力するときに接続するテレビに合わせて、出力する画面のサイズを設定します。

P33 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

ノーマル/PS(パンスキャン):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。パンスキャンに対応したワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画面の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画面(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

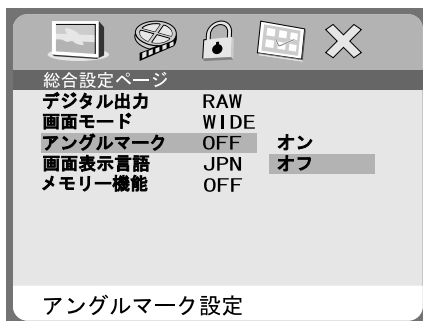
ノーマル/LB(レターボックス):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

ワイド:

ワイドテレビ(16:9)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。ワイドテレビの表示モードで「フル」を選択してください。

● テレビに映し出される映像は、ソフトの種類や接続するテレビによって異なります。

■ アングルマーク

マルチアングルDVDを再生している時に表示されるアングルマークの表示/非表示を設定します。

P33 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オン: アングルマーク表示。
オフ: アングルマーク非表示。

■ 画面表示言語

システム設定画面および、ディスプレイに表示される本機の設定言語を設定します。

P33 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

つづく

■ メモリー機能

メモリー機能のオン、オフを設定します。
DVDやCDの再生中にディスクカバーを開いた場合、最後に再生していた部分を記憶して、ディスクカバーを閉じると前に再生していた部分から再生を始めます。
メモリー機能は電源を切るまで有効です。

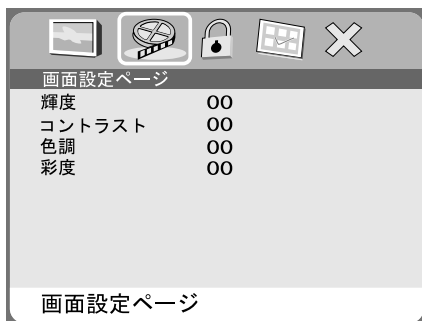
P33 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オン: メモリー機能オン
オフ: メモリー機能オフ

ちょっとこれを！

- MP3とJPEGではこの機能ははたらきません。
- 違うディスクと入れ替えて再生すると、メモリーは消えます。

画質設定ページ

SETUPボタンを押して、システム設定画面を表示させる P33
ページアイコンで画質設定ページを選択し、ENTERボタンを押す

1 **▲/▼ ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる**
設定項目が黄色で選択されます。

2 **ENTERボタンを押してから ◀/▶ ボタンを押して、画質を調整する**

3 **ENTERボタンを押して、設定を確定する**
選択した設定に変更されます。

■ 輝度

ディスプレイの輝度を調整します。

■ コントラスト

ディスプレイのコントラストを調整します。

■ 色調

ディスプレイの色調を調整します。

■ 彩度

ディスプレイの彩度を調整します。

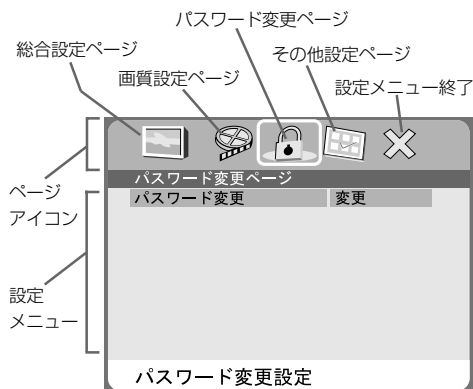
パスワード変更ページ

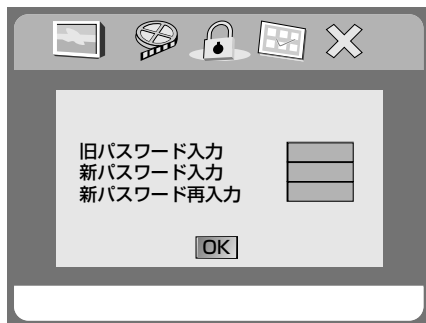
SETUPボタンを押して、システム設定画面を表示させる P33
ページアイコンでパスワード変更ページを選択し、ENTERボタンを押す

■ パスワード変更

視聴年齢制限設定 P38 で必要になるパスワードの変更がおこなえます。

1 ► ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる

設定項目が黄色で選択されます。

2 ENTERボタンを押しす

パスワード入力が画面が表示されます。

5 旧パスワード数字4桁を数字ボタンで入力する（画面下に「新パスワード入力」と表示される）

引き続き新パスワード数字4桁を入力する（画面下に「再度パスワードを入力してください」と表示される）

確認のため、もう一度新パスワード数字4桁を入力する（画面下に「変更」と表示される）

最後にENTERボタンを押す

新しいパスワードに変更されます。

初期状態のパスワードは「3308」です。

暗証番号を忘れたときは
初期設定のパスワード「3308」を入力する

つづく

その他設定ページ

SETUPボタンを押して、システム設定画面を表示させる P33

ページアイコンでその他設定ページを選択し、ENTERボタンを押す

ディスク再生中は、その他設定ページは選択できません。

■ 音声言語

複数の音声が記録されている場合、希望の音声を選ぶことができます。

1 ▲/▼ ボタンを押して、設定メニューの音声言語を選択する

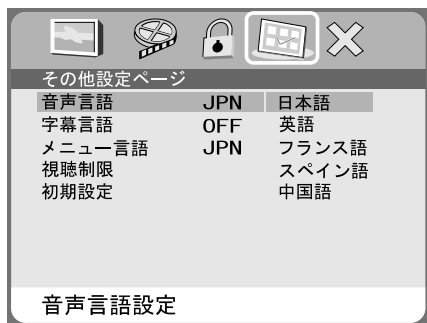
音声言語が黄色で選択されます。

2 ► ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる

設定項目が黄色で選択されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して、設定を選択する

4 ENTERボタンを押して、設定を確定する

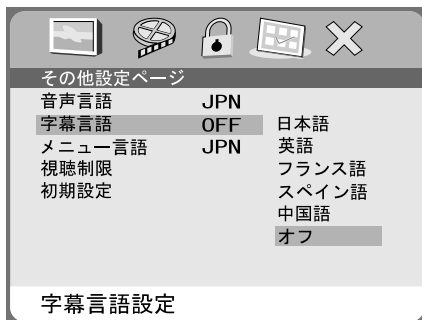
選択した設定に変更されます。

選択された各言語に切り換えます

●ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

■ 字幕言語

複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。

●ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

選択された各言語に切り換えます

オフ:　字幕非表示。

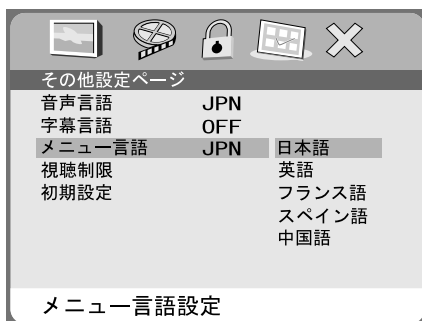
■ メニュー言語

メニューの表示言語を設定します。

●ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

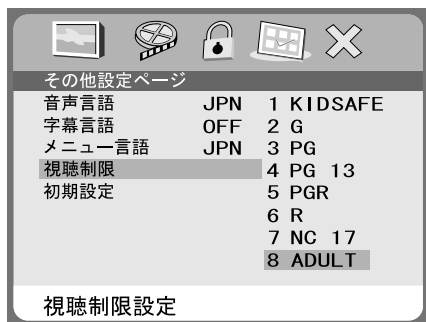
選択された各言語に切り換えます

ちょっとこれを！

● 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

システム設定

■ 視聴制限(視聴年齢制限設定)

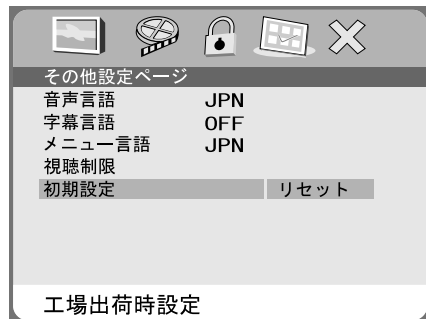
暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。
本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。
適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

P37 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。
入力後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してOKを押してください。P36

1 2 3 4 5 6 7 8
制限大 ←→ 制限小

8 ADULT:　視聴制限なし。

■ 初期設定

工場出荷時の初期設定に戻します。

P37 手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

● パスワードは初期化されません。

故障？　その前にちょっとこれを！　つづく

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般（電源について）

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターが抜けている 充電できていない	コンセントに電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターをしっかり差し込む	16
電源を入れてもすぐに切れる	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本体の電源を切り、電源アダプターを抜いて、約30秒経ってから差し込み直して、電源を入れる	16
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック（落雷または過度の静電気）、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントから電源アダプターを抜き、約5秒後にもう一度差し込む	16
画面が激しくちらつくノイズが出る	充電池での動作モードで、充電池の残量がなくなっている	DC電源端子に電源アダプターを差し込む	16
再生中・表示中に電源アダプターを抜き差しすると、電源を入れた状態の画面に戻る	電源と充電池の切り変えによるもの	故障ではありません	–

映像について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
画像が出ない（または、画面サイズがおかしい）	PAL方式で記録されているディスクを再生しようとしている	NTSC方式で記録されているディスクを入れる	10
	[外部機器への出力の場合] AVコードがしっかりと接続されていない	AVコードをしっかりと差し込む	15

音声について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
音声が出ない	音量が下がっている	音量を調節する	18
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	9、10、11
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	–
音声が途切れる	電気雑音の発生しやすいところで使用している	設置場所を変えてみる	–

故障？　その前にちょっとこれを！

ディスク再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	9
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがあります	故障ではありません	−
再生が始まらない（または、すぐに停止する）	ディスクが入っていない（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクを入れる	19
	本機で再生できないディスクが入っている（「不明ディスク」を表示）	再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する	9、10、11
	ディスクを裏返しに入れている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	再生面を下にして入れる	19
	ディスクがななめに入っている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをディスクトレイの中央のホルダーにしっかりとはめ込む	19
	ディスクが汚れているまたは傷がある（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをきれいにするまたはディスクを交換する	9
	システム設定画面が表示されている	SETUPボタンを押して画面表示を消す	33
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	38
	リージョンコードが違っている（「地域コードが間違っています」を表示）	リージョンコード2もしくはALLのディスクを入れる	11
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	2〜3時間放置してください。	8
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある（「⊘」を表示）	故障ではありません	−
音声/字幕が切り換えられない	複数の音声/字幕が入っていないディスクでは切り換えできません	故障ではありません	−
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります	故障ではありません	−
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません	故障ではありません	−
	字幕が「オフ」になっている	字幕を設定する	27、37

ディスク再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできます	故障ではありません	26
ビデオで録画できない	ほとんどのDVDディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できません	故障ではありません	–
MP3のディスクが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクや記録状態の良いディスクに交換する	28
MP3のディスクで読み込み時間がかかりすぎる	ファイル構成の問題や、つけられているファイル名が長すぎる	故障ではありません	28
JPEGを再生した後に同じディスクに入っているMP3が再生できない	MP3とJPEGが1枚のディスクに入っている場合、JPEG再生後にMP3は再生できません	故障ではありません	29
DVD再生中に画像が乱れるまたは暗い	本機ではアナログコピープロテクト方式のコピーガードにも対応しています。そのため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、外部出力するテレビによっては一部画像に縞模様がでる	故障ではありません	–
DVDとCDのディスクによる音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	–

リモコンについて

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本体の受光部に向ける	17
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約4m以内のところで操作する	17
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	17
	リモコンの電池が消耗している	電池を交換する	17
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている	照明、または本体の向きを変える	17

お願い

表示や動作が異常になったときは、POWER（電源）スイッチボタンで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
または、電源を切って電源アダプターを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

用語解説

[DTS]
Digital Theater Systemsの略です。DTSは5.1chのフォーマットですが、ドルビーデジタル5.1chと異なり音声圧縮率が低いため音に厚みがあり、S/N感が非常に良いサラウンドシステムの一つです。

[JPEG]
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式（画像フォーマット）のひとつで、ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号で、ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

[MP3]
MP3とは、MPEG1、MPEG2、MPEG2.5オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

[MPEG]
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、映像圧縮および音声圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式で映像を圧縮記録しています。

[マルチ音声]
DVDの中には、１枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大８種類まで記録することができ、その中からお好きな音声を選んで楽しむことができます。

[マルチ字幕（サブタイトル）]
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは字幕を最大32種類まで記録することができ、その中からお好きな字幕を選んで楽しむことができます。

[マルチアングル]
通常のテレビ番組などは、テレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラ位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは、数台のカメラで同時に撮影し、その中の一つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

[視聴年齢制限]
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

[チャプター]
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

[リージョンコード]
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョン番号は「2」で、本体底面部に表示されています。

[リニアPCM(LPCM)]
Liner Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。

[レターボックス]
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド（16:9）ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

アフターサービスについて

保証書［裏表紙にあります］について

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店が発行します。保証書の「販売店・お買い上げ日」等の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理サービスについて

ご使用中に具合が悪くなったときは「故障?その前にちょっとこれを!」P39 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は
  保証書の記載内容により販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

- この期間は、経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「**三洋電機・修理相談窓口**」P46～49 にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合には事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの三洋販売店か、または「**三洋電機・お客さまご相談窓口**」にお問い合わせください。

本機を使用中、万一これらの不具合により再生されなかった場合、再生されなかったことによる損失の補償、または本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

お手入れについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

参考

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を !	
このような症状はありませんか?	● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

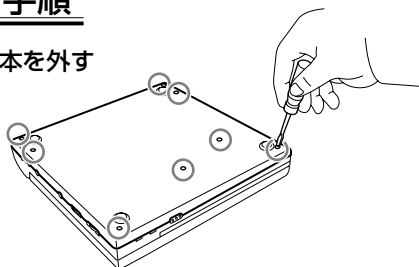
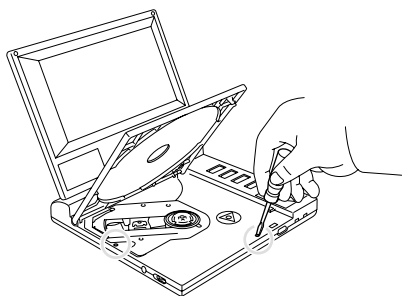
廃棄時の充電池の処理について

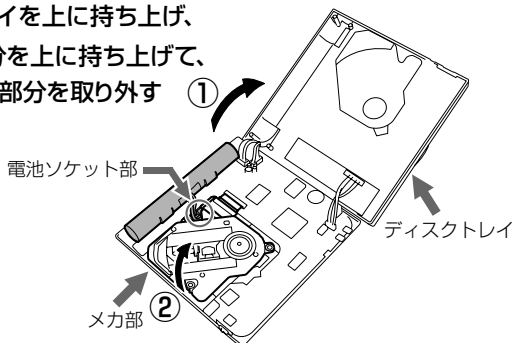
⚠ 警告（廃棄するとき以外は開けないでください）

- 一度お客さまが開けられますと製品の補償はできません。本機を開けられるときは廃棄をされる以外開けないでください。
- ぬれた手で本体を分解しないでください。
- 本体を分解する前に、本機を充電池にて作動させ動作しなくなった状態でおこなってください。

Li-ion　本機を廃棄する場合は、電池のリサイクルにご協力ください。

電池の取り外し手順

1　本体ウラ面のビス8本を外す

2　ディスクトレイ内のビス2本を外す

3　①ディスクトレイを上に持ち上げ、
次に②メカ部分を上に持ち上げて、
電池ソケット○部分を取り外す

①
電池ソケット部
ディスクトレイ
メカ部
②

お願い

取り外した電池は、もよりの販売店、もしくは各地方自治体の指示（条例）に従ってリサイクル処理してください。

仕　様

本体部	
電源	AC 100V～240V　50/60 Hz (コード長約 2m)
消費電力	10 W　(電源切　電源アダプター接続時：0.78W)
質量約	733 g
外形寸法幅	163（幅）×28.5 (高さ）× 158（奥行）mm
スピーカー	28mm　円形（16 Ω）× 2
実用最大出力	0.5W＋0.5W
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平
充電池	7.4V　リチウムイオン電池
連続使用時間	約 2 時間 20 分（充電池使用時）
端子部	
DC 入力	DC 9V　1.2A
ヘッドホン	適合インピーダンス 32 Ω
デジタル出力	COAXIAL 端子× 1：0.5Vp-p/75 Ω
映像出力	VIDEO 端子× 1：1 Vp-p/75 Ω
音声出力（アナログ音声）	AUDIO 端子× 1：1.8V RMS
DVD/CDプレーヤー部	
信号方式	NTSC カラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー
音声周波数特性	DVD：4 Hz～22 kHz、CD：4Hz～20kHz
信号対雑音比（S/N 比）	90 dB 以上(JEITA)
全高調波ひずみ率	0.005%
ワウ・フラッタ	測定限界以下(JEITA)
液晶テレビ部	
型	5.8 型
画面サイズ	127（幅）× 71.5（高さ）mm
表示方式	透過型 TFT カラー液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	280.800（横 400 ×縦 234 × 3）（有効画素率 99.99%以上）
使用光源	内部光（蛍光管内蔵）

付属品

リモコン 1	ヘッドホン 1
電源アダプター 1	AV コード 1
本書（保証書付）........ 1	

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

参考

三洋電機・修理相談窓口

「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間:　月曜日～土曜日（日曜～祝日を除く）　[9:00～17:30]

北 海 道 地 区

〔北海道〕

札　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条 4-1-36
函　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町 589-295
苫小牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町 2-2-5
旭　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北３条 7-3-3
北　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町 4-7-14
釧　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町 7-7

東 北 地 区

〔宮城県〕

仙　台	(022)384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂 3-4-8

〔青森県〕

青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺 29-5
八　戸	(0178)28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂 50-5

〔岩手県〕

盛　岡	(019)635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北 1-13-6
水　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	水沢市佐倉河字羽黒田 45

〔山形県〕

山　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形市荒楯町 1-21-30
酒　田	(0234)23-3817	〒998-0842	酒田市亀ヶ崎 6-7-16

〔秋田県〕

秋　田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田市旭南 3-2-67

〔福島県〕

郡　山	(024)945-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔 1-7

関 東・甲 信 越 地 区

〔埼玉県〕

さいたま	(048)664-2319	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田 5-3-17

〔栃木県〕

栃　木	(028)653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町 1302-12

〔茨城県〕

茨　城	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑 2-15-3
水　戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田 3-2386-1

〔群馬県〕

群　馬	(027)362-1151	〒370-0001	高崎市中尾町池の内 441
西関東	(0276)22-7702	〒373-0015	太田市東新町 72-2

三洋電機・修理相談窓口（つづき）

関東・甲信越地区つづき

〔新潟県〕

新　　潟	(025)285-2431	〒950-0971	新潟市近江244
長　　岡	(0258)24-0705	〒940-0029	長岡市東蔵王2-3-46
上　　越	(0255)43-3535	〒942-0074	上越市石橋2-2-9

〔東京都〕

城　　東	(03)3607-3191	〒125-0051	葛飾区新宿4-10-15
城　　北	(03)3958-1261	〒173-0021	板橋区弥生町72-5
城　　西	(03)3376-3361	〒151-0073	渋谷区笹塚3-1-13
武 蔵 野	(042)364-7721	〒183-0045	府中市美好町2-3-1

〔神奈川県〕

戸　　塚	(045)827-2831	〒224-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
相 模 原	(042)742-2272	〒228-0805	相模原市豊町17-11
平　　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮5-10-4

〔千葉県〕

千　　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉市中央区問屋町5-20
鎌 ケ 谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59

〔山梨県〕

山　　梨	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

東　海　地　区

〔愛知県〕

名 古 屋	(052)451-3161	〒453-0804	名古屋市中村区黄金通5-10
岡　　崎	(0564)23-3418	〒444-0065	岡崎市柿田町1-2

〔岐阜県〕

岐　　阜	(058)246-3417	〒501-6006	羽島郡岐南町伏屋1-35

〔静岡県〕

静　　岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡市長沼885
沼　　津	(055)963-1000	〒410-0861	沼津市真砂町3-1
浜　　松	(053)461-8685	〒435-0016	浜松市和田町795-2

〔長野県〕

松　　本	(0263)26-1107	〒390-0835	松本市高宮東1-35
長　　野	(026)299-9501	〒388-8006	長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2

〔石川県〕

金　　沢	(076)237-7811	〒920-0062	金沢市割出町627

〔富山県〕

富　　山	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8

〔福井県〕

福　　井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井市問屋町1-17

〔三重県〕

三　　重	(059)228-8126	〒514-0838	津市岩田町10-3

三洋電機・修理相談窓口（つづき）

近　畿　地　区

〔大阪府〕

大　　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
大　阪　南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大　阪　東	(0729)65-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
阪　　和	(072)221-8571	〒590-0959	堺市大町西3-1-16

〔京都府〕

京　　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町41
三　　丹	(0773)27-3458	〒620-0856	福知山市土師宮町1-66

〔奈良県〕

奈　　良	(0744)22-7888	〒634-0837	橿原市曲川町7-1-31

〔滋賀県〕

滋　　賀	(077)545-4221	〒520-2134	大津市瀬田1-1-5

〔和歌山県〕

和　歌　山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山市中島369
田　　辺	(0736)22-7520	〒646-0051	田辺市稲成町南江原318

〔兵庫県〕

神　　戸	(078)651-3951	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪　　神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(0792)96-2141	〒670-0981	姫路市西庄字八町108
淡　　路	(0799)22-2702	〒656-0101	洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

〔広島県〕

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町3-17-5
福　　山	(084)925-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48

〔岡山県〕

岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	津山市上河原239-10

〔鳥取県〕

鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107

〔島根県〕

浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	浜田市長沢町3049
松　　江	(0852)23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14

〔山口県〕

山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6

三洋電機・修理相談窓口（つづき）

四　国　地　区

〔愛媛県〕

愛　媛	(089)971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1
宇和島	(0895)27-1818	〒798-0077	宇和島市保田甲934-3

〔香川県〕

香　川	(087)843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10

〔高知県〕

高　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044

〔徳島県〕

徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区

〔福岡県〕

福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	〒818-8534　筑紫野市6-1-1
北九州	(093)521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州	(0942)21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2

〔長崎県〕

長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎市本河内3-21-43
佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1

〔熊本県〕

熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本市南高江町3-2-88
八　代	(0965)35-3483	〒866-0871	八代市田中東町12-7

〔大分県〕

大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32

〔宮崎県〕

宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎市花ケ島町観音免883

〔鹿児島県〕

鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

〔沖縄県〕

沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	中頭郡西原町小那覇1303

(290304C)

☆ 住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

参考

無印良品ポータブルDVDプレーヤー保証書

持込修理

形　名	DVD-HP550M	
お客様	ふりがな お名前	様　☎
	〒 ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買いあげ日 年　月　日より	本体は1年間 （ただし消耗部品は除く）

〈無料修理規定〉

1　取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買いあげの販売店が無料修理いたします。

2　保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
　（イ）本書のご提示がない場合
　（ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
　（ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
　（ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
　（ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
　（へ）一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。
　（ト）消耗部品（ふたパッキン）が損耗し取り換えを要する場合。

3　保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。

4　本書は日本国内においてのみ有効です。

●本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

●保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

●ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております、「三洋電機・修理相談窓口」をご覧のうえ、もよりの修理相談窓口にお問い合わせください。

●本書は再発行いたしません。たいせつに保存してください。

★この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店または三洋電機・修理相談窓口にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

★充電池の交換御希望の際はお買い上げの販売店または直接「株式会社良品計画」へ、お問合せください。

修理メモ

株式会社
良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ（03）3989-5200
FAX（03）3985-7272

販売元　株式会社
良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様室でんわ（03）3989-5200
FAX（03）3985-7272

製造元　三洋電機株式会社
三洋テクノ・サウンド 株式会社
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
電話　大東(072) 870-4186 (直通)

XXX8880012026---(JP1)XXX